

まつもと 公民館報

発行
2018
9/30

●問い合わせ 中央公民館
TEL 32-1132 FAX 37-1153
●編集 公民館報編集委員会
●印刷 株式会社プラルト



シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 39

フェスティバル誕生とともに始まった 27回目の合同演奏会

小中学生が フェスティバルを彩る

8月19日(日)の午前中、市内の小中学生を中心に55団体約2700人が市街地をパレードし、松本城本丸庭園内で合同演奏会を開催。今年は台湾・高雄市の中学生も初めて参加しました。

1992年に小澤征爾氏らが創立し、毎夏松本市で開催されてきた「サイトウ・キネン・フェスティバル(SKF)松本」は、2015年から「セイジ・オザワ 松本フェスティバル(OMF)」に生まれ変わりました。

OMFの大きな特色の一つは、小中学生が、生の音楽に触れることを大切にしながら、さらなる高みを目指していることです。

音楽に親しむとともに、将来の音楽家を目指す人たちが現れることを願いながら...

成功を願う心は一つ！

セイジ・オザワ松本フェスティバルの成功と発展のため、ボランティア団体「OMFコンチエルト」が発足して3年目を迎えました。そこで、松本の一大イベントを支えるスタッフの様子を、8月25日にザ・ハーモニーホールで行われた『ふれあひコンサート』で取材しました。

OMFコンチエルトとは

サイトウ・キネン・フェスティバル (SKF) 松本からセイジ・オザワ松本フェスティバル (OMF) に名称が変わったことを機に、翌年それまでの「SKF松本ボランティア協会」から運営方法が一部改め発足しました。主に変わった点は、それまで単年度で結成と解散を繰り返していたものが、常設の団体となったことです。現在の登録者数は、SKFの頃とそれほどの変動はありません。

ザ・ハーモニーホールにて

午後3時、1階ロビーにて、チーフリーダー、パートリーダーを中心に、打ち合わせが始まりました。開演2時間前です。さらに、その30分後、「朝礼」と呼ばれる全体の打ち合わせが行われました。ドレスコードが決まっており、この日は男



当日の参加者全員で行われる「朝礼」

性がダークスーツにネクタイ、女性は白ブラウスに黒スカートまたは黒ストラックスです。少し緊張感のある中、スケジュール説明などがスムーズに流れていきます。リーダーの周到な事前準備がうかがえました。その後、パートごとに打ち合わせが行われました。例えばドアのパートでは、ドアの開け方、閉め方、タイミンなどほかもちろん、ドアストップパーの上手な使い方や、トランシーバーの発話の注意点など細部にわたる確認が行われ

ます。さらに、初めてのメンバーには個別に再度確認が行われます。

結果、本番ではみなスムーズに、打ち合わせどおり動いていました。特に、ドアの前にいた3人がリーダーの指示の直後、全く同じ動作でドアを開け、ストップパーをかけた様子は感動ものでした。

本番が始まると

開演1時間前に、開場となります。スタッフは明るく、「いらっしゃいませ」と声をかけます。「チケットをご用意のうへご入場ください」との案内は受付をスムーズにするための必須事項です。ロビーに置かれた関連グッズのシヨップが来場者で賑やかになり、場内が活気に満ちてきます。場外では、来場者の動向を開演直前まで把握し、場内に連絡します。トラブルなく開演するための重要な仕事です。開演中にスタッフは交代で休憩します。

いよいよ終演となり、先ほどの3人が再びリーダーの指示のもと揃ってドアを開けると、来場者の退場時間です。スタッフ全員ロビーに並び、「ありがとうございました」とあいさつします。



笑顔でお客様をお見送り

実行委員会の藤森事務局長は「松本市型のこのボランティアの体制は良いと思うので、さらに新しい方、若い方の参加を促したい」と述べていました。

ボランティアに参加して

初めて参加した専門学校生は「年上の方が多く緊張しま

した。社会に出るのに先駆けて、自分が一番年下の立場で入るといい良い経験になりました。お金をもらわない仕事を経験することによって、仕事に対する意義が学べたと思います」と感想を話してくれました。

最後に、村松代表は「OMFコンチエルトのボランティア活動に誇りを持って、何より楽しんでいただきたい」と話しました。

スタッフ全員が一糸乱れず一丸となって活動する姿には、イベントに対するプライドが感じられました。このボランティアの運営方法は、一つの文化と言えるものになっているのかもしれない。さらなる広がりが期待されます。

ちよこつと 松本さんぽ

～ひまわり咲き誇る～

今年も松本大学西側に、約13万本の巨大なひまわり畑が出現しました。今年で10回目の記念の年となった新村のひまわり畑には、JA青年部や地元の子育てサークル・ひよこの会、新村保育園の園児が植えた花が咲きました。



(撮影:2018.8.5)



これが採れば最高です！
松茸

毎年きのこ狩りを楽しむために、止メ山（私有林）への立ち入りは絶対に禁止です。次に、きのこを全部採り尽くさない心の余裕を持ち、採り過ぎないように心掛けましょう。地中の菌糸のために周囲

きのこ中毒を防ぐために

「ナスと一緒に料理すれば大丈夫」や「ナスなどは全て迷信。2. 自分で判断できなければ食べない。美味しそうだからという理由で食べて中毒を起こすこ

を踏み荒らさないことも重要です。毒きのこが蹴飛ばされるなどして壊されているのを見かけますが、人間にとって無価値でも、木々にとっては大切な友人です。

里山の恵み、おこひる

楽しいきのこ狩りも一歩間違えたら食中毒の危険があります。事故に遭わないためにも事前の知識が必要です。

きのこ中毒を防ぐために

写真でつづる まつもとの今昔 ④〇

～松本城下町の舞台～



(撮影年不詳 写真提供：日本報道写真連盟)

18基の舞台が市の重要有形民俗文化財に指定されている。その内で深志神社の例大祭には、16基の舞台が各町内を曳行して歩き、城下町の祭りを豪華絢爛に彩っている。



(2018.7.25 撮影)

平成11年から15年間にわたり修復された舞台と新しいデザインの法被で、町内を曳行している。

1. 迷信に騙されるな。「縦に裂けるきのこは大丈夫」や「ナスと一緒に料理すれば大丈夫」などは全て迷信。2. 自分で判断できなければ食べない。美味しそうだからという理由で食べて中毒を起こすこ

を踏み荒らさないことも重要です。毒きのこが蹴飛ばされるなどして壊されているのを見かけますが、人間にとって無価値でも、木々にとっては大切な友人です。

きのこ中毒を防ぐために

1. 迷信に騙されるな。「縦に裂けるきのこは大丈夫」や「ナスと一緒に料理すれば大丈夫」などは全て迷信。2. 自分で判断できなければ食べない。美味しそうだからという理由で食べて中毒を起こすこ

を踏み荒らさないことも重要です。毒きのこが蹴飛ばされるなどして壊されているのを見かけますが、人間にとって無価値でも、木々にとっては大切な友人です。

毒きのこを採らない

とも多い。3. 人間は自分に都合よく考えがち。シメジを採りたいと思っていると、なんでもシメジに見えてくる。4. 頂き物は疑え。もらったきのこで中毒を起こすという例も少なくない。5. 生で食べるな。食用のきのこでも生では有毒

山は、子どもの遊び場や地域住民の憩いの場所でしたが、里山の荒廃がこれ以上進まないために、毎年きのこを採る行政処置を待つまでもなく、我々住民が利用・管理し、関わり続けることが、里山の環境保全につながると思います。

40年ほど前から管理が行き届かなくなりました。その結果、やぶになったり、ごみが不法投棄されたりしています。里山の荒廃がこれ以上進まないために、毎年きのこを採る行政処置を待つまでもなく、我々住民が利用・管理し、関わり続けることが、里山の環境保全につながると思います。



折れた枝や落ち葉が散乱、現状の里山

おこひる

6月29日に梅雨が明け、7月以降は晴天の日が続く。長い間雨が降らず、酷暑の日々が続いている。▼毎日平均気温が過去最高に達し、熱中症搬送者も例年と比べると多いらしい。

この暑さを避けて生活している毎日、最近では夜間も気温が下がらないので、睡眠中もエアコンを稼働させている状態だ。▼ここ数年、異常気象という極端な現象に見舞われる中、日本各地を襲うゲリラ豪雨や西日本の豪雨災害というニュースを見るたびに胸が痛む。▼今年の夏はいつもの夏と違う。農作物なども被害を受け、私たちの食卓に上るものも影響が出てきている。いつになったら四季を楽しめる生活が戻ってくるのだろうか。▼今年はかなり残暑が厳しいらしい。この夏に打ち勝つためには、しっかりと食べ、睡眠を取り、夏バテにならないように心掛けたい。一日でも早く平穏な生活に戻りますようにと願うばかりだ。(8月執筆)



歴史探訪
探ろう松本
7

豊かな水と歴史の街 鎌田地区

田園風景の中に次々と拓かれる町並み。鎌田地区は、市内最大の人口を誇る地区です。

地区の現状

鎌田地区は、旧市内市街地南西部に位置し、古くからの集落のほか、国道19号線沿いのロードサイドショップや南部の工業地、平成に入って都市計画等で開発された多くの住宅街など、多様な特性を持つ地域が渾然一体となって形成されています。全17町会には、今年9月1日現在、人口1万9562人、8967世帯が居住し、これは市内35地区中で最多となっています。

井川城跡

地区内に残る井川城跡は、府中に進出した信濃守護の小笠原貞宗が、14世紀半ばに本拠地として築いた守護館の跡です。近年の発掘調査では、守護の権威や権力を示す青磁花生けの破片などが出土。南北100メートル、東西70メートルの守護に相応しい規模の方形の館があったことも確認されました。29年2月に



国史跡に指定された井川城跡

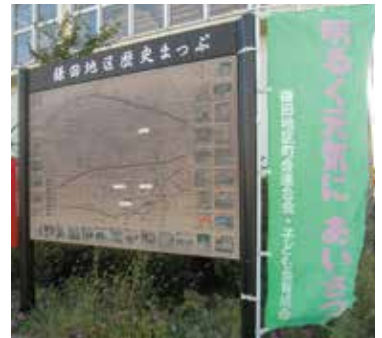
は、林城跡とともに「小笠原氏城跡」として国史跡に指定されました。江戸時代の『信府統記』には、井川城に隣接する鎌田村は曲輪の内。征矢野村の北の方まで三ノ曲輪で、当時は堀の跡があったという記述もあり、今後の調査が期待されます。

地区名の由来とふるさと鎌田

鎌田の「かま」とは、水の湧き出る釜状の地形のことをいい、鎌田は湧水地帯の水田を意味します。今でもあちこちに清水が湧き、水草そよぐ川の流れが幾筋も見られます。

これからの鎌田

一昨年から鎌田小学校が、2のつく日を「あいさつツデー」と名づけて、あいさつ運動を実施しています。この運動を地域でも推進するべく、本年度、鎌田地区の町会連合会・子ども会育成会・地区公民館は、のぼり旗を新調して地区内の各町会などに配布しました。人口の流入・増加がさらに見込まれる鎌田地区では、住民相互のつながりを大切にした地域づくりが急務となっています。



あいさつ運動ののぼり旗

わがまち自慢 第22回

内田地区 牛伏川 フランス式階段工

100年を迎えた地域の宝

牛伏川の上流は、脆弱な地質と急峻な地形のため、江戸時代からたびたび大洪水に遭い、下流域では大きな水害に見舞われました。土砂災害を防ぐため、明治18年に内務省は砂防工事に着手しました。そのうち、フランスのサニエル渓谷階段工に倣って施工され、大正7年に完成したのが、牛伏川階段工です。砂防施設と自然が一体となった景観で、平成24年には国の重要文化財に指定されました。

地域や市民の力で、この素晴らしい防災遺産を未来に引き継いでいきたいと思います。

地域の宝を守るため

100年を迎えた今年には、パネル展や現地見学会、シンポジウムなどさまざまな行事が企画されています。9月2日に現地見学会と保全活動があり、県内外からの参加がありました。よく知られている階段工は、下流域の延長141メートルの水流になりますが、上流にはいくつもの枝分かれた張石水路（石を組み合わせて造った水路）があり、全長は8350メートルにも及びます。日本の伝統的な技術とその美しさは圧巻です。



地産地消のかんたんレシピ

ねっとり甘い 『カボチャ豆腐』

冷たく冷やしてワサビ添えがオススメ!!

材料：カボチャ、片栗粉、ワサビ、かつおだし汁

1. カボチャの皮をむいて一口大に切り、ひたひたの水で茹でる
2. 柔らかくなったらザルにあげて、鍋に戻してマッシャーで潰す
3. 片栗粉と水を加えて弱火で、もったりするまで2分間練る
4. ラップに小分けして茶巾のように絞る
5. 冷蔵庫で冷やしたら器に盛り、ワサビを添えてだし汁をかける

